



学校教育目標【自主】【寛容】【挑戦】

重点目標「目標の実現に向けて、自ら努力する生徒」

原町三中だより

南相馬市立原町第三中学校

学校だより 第19号

令和6年1月9日(火)発行

発行者 校長 和田節子

自律的に行動する生徒に！

～第3学期始業式 校長式辞より～



最大震度7を観測する能登半島地震から1週間。死者は168人、孤立している人達は3000人を超えると報道されていますが、いまだにその全容はわかりません。東日本大震災後、毎年お米を送ってくださっている富山県射水市立新湊南部中学校に電話をしたところ、生徒も先生方も無事だったということです。私たちは震災後、多くの支援を受けてきました。被災した人達のために何か支援できることはないか、皆で考えていきましょう。

さて、悲しい出来事があった一方で、感動した出来事もありました。それは、**箱根駅伝**です。東京一箱根間、往復約200kmを10人で走ります。今年は、大方の予想に反して青山学院大学が優勝しました。私が感動したのは3区を走った太田蒼生選手です。2位で襷を受け取り、22秒差をあっという間に縮め、学生ナンバーワンの呼び声高い1位の選手を抜き去ったのです。「こんなにペースを上げて大丈夫なの？」とハラハラしながら見ていました。しかし、太田選手はレース前から、「箱根にピークを合わせてきた。1位になるイメージはしっかりできている。」と言い切っていました。**1年間のスケジュールを自分で考え抜き、メンタルもフィジカルもベストな状態にもっていく**ということはすごいことだと思います。

実は一昨年も、青学が優勝しました。その時は、9区の時点で2位との差は4分以上あり、もう青学の優勝は確実でした。普通なら安全策をとるところだと思いますが、青学の9区、10区の選手は、二人とも積極的な攻めの走りをして、区間新記録を打ち立てたのです。監督が指示したわけでも何でもなく、自分自身の判断でレースを組み立てたのです。

青山学院の駅伝部は「**自律**」ということを大切にしているそうです。自分で考え、判断し、行動することです。日頃から、**目標は何で、今自分に足りないものは何なのか、それを、監督に教わるのではなく、学生一人一人が考えたり、話し合ったりしながら練習を続けている**そうです。人任せにせず、自分で考える習慣がついているからこそ、本番でも自分で自分の体調を把握し、レースをデザインし、それを実現していくことができるのだと思います。彼らはメディアの取材に対しても自分の言葉で率直に答えますが、それもやはり日頃から**自分の考えを持っている**からできるのだと思います。

皆さんも、**目的意識や課題意識**を持ち、自分で考え、判断し、行動できるようにしていきましょう。授業でも、部活でも、委員会活動でも、そういう姿が見られることを期待しています。



三人の生徒が「冬休みの振り返りと三学期の抱負」を発表。成果と改善点を具体的に堂々と述べていて、素晴らしい内容でした。